アイゼット照明器具

丸形ＨＩＤ投光器（屋外用）

取扱説明書

保管用

灯具品番	配光	種類	重量	適合ランプ（別売）
SEL-FP04 NC	狭角	普及形	6.7kg	SEC190 BU/BH SEC230 BU/BH SEC360 BU/BH
SEL-FP04 WC	広角			
SEL-FP04 NB	狭角	普及形（耐塩耐食形）		
SEL-FP04 WB	広角			

灯具品番	配光	種類	重量	適合ランプ（別売）
SEL-FP10 NC	狭角	普及形	10.6kg	HF700 BU/BH MF700 BU/BH HF1000 BU/BH MF1000 BU/BH
SEL-FP10 WC	広角			
SEL-FP10 NB	狭角	普及形（耐塩耐食形）		
SEL-FP10 WB	広角			

※適合ランプについて・・・器具としては上記ランプが適合しますが、ご使用にあたっては別途手配の安定器に適合するものをお選びください。

器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。素人工事は法律で禁じられております。

施　工　説　明

工事店様へ、この説明書は保守の為お客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損傷を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

●施工は、取扱説明書にしたがい確実に行ってください。施工に不備があると落下・感電・発火の原因となります。
●電源線接続の際は、本取扱説明書の「器具の取付手順」に従ってください。
接続が不完全な場合、発火・火災の原因になります。
●接地工事（Ｄ種接地工事）を確実に行ってください。接続に不備があると感電の原因となります。【電気設備技術基準】
●安定器別置型です。使用するランプ、電圧、周波数を確認の上、適正なものを選んでください。
ランプの破裂・発火の原因となります。
●ランプは器具、安定器との適合とランプの使用制限を確認の上使用してください。ランプの破裂・発火の原因となります。
●器具を改造したり部品を変更、追加して使用しないでください。
性能が十分発揮できないばかりか、器具の落下・感電・発火の原因となります。
●この器具は、腐食性ガス雰囲気場所には使用しないでください。
そのまま使用しますと、変質、変色、絶縁不良、器具の落下の原因となります。
●この器具は、激しい振動・衝撃の加わる可能性のある場所、常時振動のある場所では使用しないでください。
そのまま使用すると絶縁不良、器具落下の原因となります。
●この器具は、防湿形ではありませんので、湿気の多い場所には使用しないでください。
湿気の侵入による絶縁不良、感電の原因となります。
●臨海地域には使用できません。早期の錆発生、落下の原因となります。＊塩害地域には耐塩耐食形をご使用ください。
●前面ガラスが高温になりますので、人が容易に触れるおそれのある場所では使用しないでください。
やけどの原因となります。
●枯葉や枯枝が前面ガラスに舞い落ちるような場所ではルーバーと組み合せて使用しないでください。発火の原因となります。
●草や木で前面ガラスがおおわれるような場所では使用しないでください。発火の原因になります。
●器具と被照射面との距離は４００W形で１m以上、１KW形で２m以上離してご使用ください。
照射距離が指定よりも近すぎると、被照射物の変質、変色、火災の原因になります。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う危険が想定される場合および物的損害の想定される内容を示します。

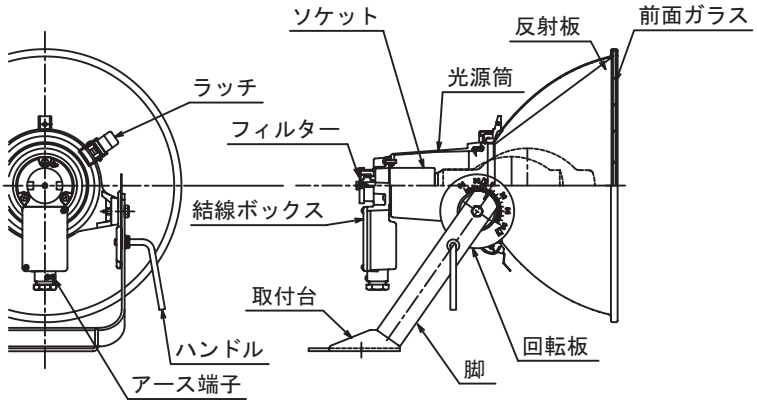
●この器具は一般屋外用（防雨型）です。それ以外の場所では使用できません。発火・感電・落下の原因となります。
●器具（安定器・ランプ）の定格電圧と使用地域の電源電圧（定格±６%）・周波数は器具取付の際に必ず確認ください。
間違って使用しますと、ランプ、安定器などの短寿命、火災、感電の原因となります。
●周囲温度は−５℃〜３５℃以外では使用しないでください。点灯不良、火災の原因となります。
又、施工時の一時的な点灯確認以外は日中点灯はしないでください。不点や発火の原因となります。
●口出線が鳥害を受ける恐れのある場合、口出線にスパイラルチューブ（ナイロン製又はテフロン製）を覆せた上に
テーピングして保護してください。感電の原因になります。
●風速６０m／秒を超える場所では使用しないでください。落下の原因となります。
●器具に１m以上の雪が積もる恐れのある場所では使用しないでください。
そのまま使用されますと落下の原因となります。（使用する場合は必ず除雪行ってください。）
●器具の取付には方向性があります。取扱説明書に従って行ってください。
指定以外の取付を行うと水、水気の侵入による絶縁不良、感電の原因となります。
いかなる状態でもフィルターの通気孔が下を向くよう光源筒を回して位置を調整してください。
●必ず適合の電線をご使用ください。適合外の電線を使用しますと器具への浸水の原因となります。
（注）安定器二次側配電線を送り配線には出来ません。
（注）安定器二次側配電線は６００Ｖ架橋ポリエチレン絶縁ポリエチレンシースケーブル（ＣＶ）と
同等以上の性能を有するケーブルをご使用ください。

各部のなまえと取付手順

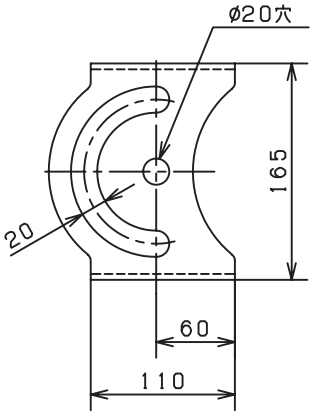
⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

●施工は、取扱説明書にしたがい確実に行ってください。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。

■各部のなまえ



■取付台寸法



1. 取付前の確認

・器具質量に十分耐えるよう、ボルト取付部の強度を確保する。**不備があると、器具落下の原因となります。**

（注）天井面では器具上部が高温となりますので、可燃物（ビニールクロスなどの壁装材処理や木材等）の天井には取り付けないでください。

2. ランプの取付

・適合ランプをソケットに最後まで確実にねじ込む。**取付が不完全な場合、ランプ落下・ランプ不点灯の原因となります。**

3. 光源筒の取付

・光源筒をラッチ（3ヶ又は4ヶ所）で締め付けてください。**締め付けに不備があると水、水気の侵入により絶縁不良、感電の原因となります。**

4. 器具の取付

①取付台に取付穴が上図のように設けてあります。適合ボルト（Ｍ１６）3本でゆるみのないよう平座金、バネ座金を入れて締め付けてください。

②目的の方向に器具を調節して、ボルトとハンドルをしっかり締め付けてください。**取付が不完全な場合、器具落下の原因となります。**

5. 電源線の接続

①安定器二次側配線と口出し線の接続はスリーブ等により確実に行い、自己融着テープ、絶縁テープで十分、防水処理を行い、結線ボックス内におさめてください。

②接地端子ネジを利用して、D種（第3種）接地工事を行う。**接続が不完全な場合、感電・火災の原因となります。**

③接続部を結線ボックス内におさめ、ボックス蓋をビスで確実に締め付けてください。**締め付けが不完全な場合、絶縁不良・感電の原因となります。**

④接続した電源線はゆれないように必ず保持してください。この場合ランプ交換のためにケーブルに余裕をもたせてください。

（注）安定器二次側配線を送り配線には出来ません。

（注）安定器二次側配線は、600V架橋ポリエチレン絶縁ポリエチレンシースケーブル（CV）と同等以上の性能を有するケーブルをご使用ください。

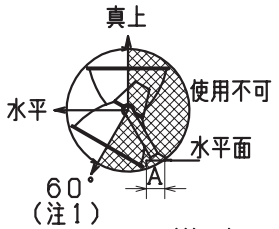
6. 器具の取付方向と可動範囲

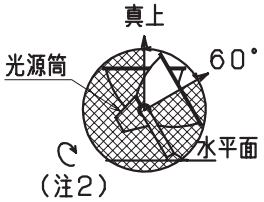
①目盛板に振向角度が表示されているには水平面取付の範囲です。

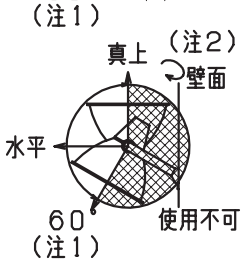
・取付方向によっては角度表示のない場合や表示があっても振向は不可の場合があります。

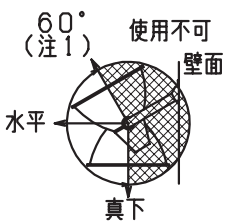
②使用するランプの点灯可能方向によっても振向角度の制限がでてきます。（下図の注記参照）

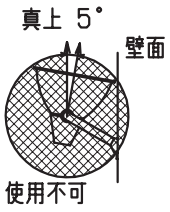
・角度調整後、ボルト、ハンドルを確実に締め付ける。**締め付けが不完全な場合、器具落下の原因となります。**

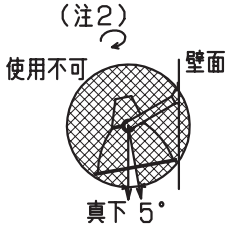








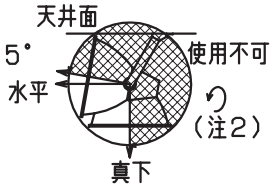


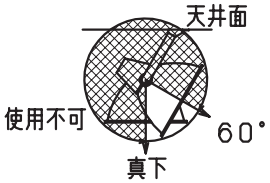


・（注１）取付部の出幅がＡ＝１００ｍｍ以下で正面へ照射した場合。

・（注２）フィルターの通気孔が下向きになるように光源筒を回転させて取付けて下さい。

・使用するランプの点灯可能方向によっても振向角度の制限が出てきます。





工事店様へ　お客様の施設の安全で便利な保守のために、施工記録表の各欄に記入し、使用されるお客様にお渡しくださるようお願いします。

取扱説明　お客様へ、この説明書は必ず保管ください

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みの上正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- ランプ交換やお手入れの際は、取扱説明書に従って行ってください。落下・感電・火災の原因となります。
- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。電源を入れたままランプ交換を行うとランプ始動のためソケットには2k～6kの高電圧パルスが発生しておりこの高電圧の衝撃により落下事故、感電の原因となります。
- ランプ交換の際には、必ず本体表示並びに取扱説明書通りの種類・ワット（W）数の適合ランプをご使用ください。適合ランプ以外をご使用の場合は、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因となります。
- ランプ交換は、器具・安定器の適合とランプの使用制限を確認の上行なってください。ランプ破裂・発火の原因となります。
- ランプ交換などにより光源筒ランプ等を外し再度取り付ける場合には、取扱説明書に従ってください。取付に不備がありますと水、水気の侵入により絶縁不良、感電の原因となります。
- 器具を改造しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなど異常状態のままで使用すると、感電・火災の原因となります。異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店・電気工事店にご相談ください。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う危険が想定される場合および物的損害の想定される内容を示します。

- 点灯後及び消灯直後はランプ及び器具が高温となっておりますので、手で触れないでください。やけどの原因となります。
- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切り、器具が十分冷えてから行ってください。やけど・感電の原因となります。
- ランプ交換の際には、取付手順に従って確実に行ってください。不備がありますと、落下・感電・やけど・発火の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置場所により環境ストレスはことなります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
  ※使用条件は周囲温度30℃、1日点灯時間10時間点灯、年間3000時間点灯です。
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。

お手入れ・ランプ交換　⚠ 注意（必ず電源を切って行なってください。感電の原因になります。）

- 器具の清掃について・・・・・・・・汚れを落とす場合は、石けん水をひたしたやわらかい布をよく絞ってふきとり乾いた布で仕上げてください。
  シンナー・ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。　変色・変質の原因となります。
- ランプ交換について・・・・・・・・ランプ交換は、器具・安定器の適合とランプの使用制限を確認の上行なってください。

保守・点検のために

お客様へ　ランプ交換など保守のために、下表内容をご確認の上、適切な保守用品をお求めください。なお、安全のために保守作業は、できるだけ工事店にご依頼ください。

〈施工記録〉

器具品番		保守作業上の注記
取付年月日		
使用ランプ品番		
使用安定器品番		

■保証について

・保証について－この商品の保証期間は1年間です。但し、消耗品は除きます。

・保証書について－保証書が必要な場合は、弊社代理店または営業所へお申し出ください。

商品についてのご相談、お問い合わせは、器本体表示の品番、又は型名をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは下記へご連絡ください。

株式会社 アイゼット

本　　社／長野県上伊那郡南箕輪村6201-1　〒399-4511
TEL：0265-71-8822（代）　FAX：0265-71-8800
東京営業所／東京都中央区日本橋2-1-6 東日本藤和ビル〒103-0004
TEL：03-5833-8801（代）　FAX:03-5833-8805
福岡営業所／福岡市中央区天神5-10-11 ｲﾄｰﾋﾟｱ天神ﾋﾞﾙ 〒810-0001
TEL：092-738-7270　FAX:092-738-7280
■ホームページアドレス　http://www.iz-inc.co.jp/

取説 No. IZ0029E7-070509

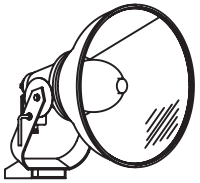
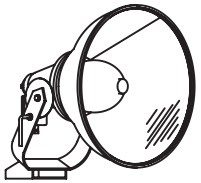
屋外用照明器具

株式会社　アイゼット

HID 投光器

投光器一覧表

◎最適　○適当　ーおすすめできない。

		普及形［耐塩耐食形］	普及形［耐塩耐食形］	普及形［耐塩耐食形］	普及形［耐塩耐食形］	普及形	普及形	普及形	普及形
		狭角配光	広角配光	狭角配光	広角配光	狭角配光	広角配光	狭角配光	広角配光
おすすめ場所	臨海地域	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
	沿岸近辺・重工業地域	◎最適	◎最適	◎最適	◎最適	○	○	○	○
	市街地・郊外	◎最適	◎最適	◎最適	◎最適	◎最適	◎最適	◎最適	◎最適
	振動地域	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
HID光源		660W～1kW	660W～1kW	150W～400W	150W～400W	660W～1kW	660W～1kW	150W～400W	150W～400W
対象機種		SEL－FP10NB	SEL－FP10WB	SEL－FP04NB	SEL－FP04WB	SEL－FP10NC	SEL－FP10WC	SEL－FP04NC	SEL－FP04WC
姿図									
主要部品材質・仕様	外面カバー（補助反射鏡）	アルミ（内面：化学研磨アルマイト処理 外面：塗装）	アルミ（内面：化学研磨アルマイト処理 外面：塗装）	アルミ（内面：化学研磨アルマイト処理 外面：塗装）	アルミ（内面：化学研磨アルマイト処理 外面：塗装）	アルミ（内外面：化学研磨アルマイト処理）	アルミ（内外面：化学研磨アルマイト処理）	アルミ（内外面：化学研磨アルマイト処理）	アルミ（内外面：化学研磨アルマイト処理）
	ソケット筒	アルミダイカスト（外面塗装）	アルミダイカスト（外面塗装）	アルミダイカスト（外面塗装）	アルミダイカスト（外面塗装）	アルミダイカスト（外面塗装）	アルミダイカスト（外面塗装）	アルミダイカスト（外面塗装）	アルミダイカスト（外面塗装）
	脚	鋼板（溶融亜鉛メッキ後塗装）	鋼板（溶融亜鉛メッキ後塗装）	鋼板（溶融亜鉛メッキ後塗装）	鋼板（溶融亜鉛メッキ後塗装）	鋼板（溶融亜鉛メッキ）	鋼板（溶融亜鉛メッキ）	鋼板（溶融亜鉛メッキ）	鋼板（溶融亜鉛メッキ）
	ハンドル	ステンレス	ステンレス	ステンレス	ステンレス	ステンレス	ステンレス	ステンレス	ステンレス
	反射鏡支持部	アルミダイカスト（外面塗装）	アルミダイカスト（外面塗装）	アルミダイカスト（外面塗装）	アルミダイカスト（外面塗装）	アルミダイカスト（外面塗装）	アルミダイカスト（外面塗装）	アルミダイカスト（外面塗装）	アルミダイカスト（外面塗装）
	塗装	アクリル焼付塗装	アクリル焼付塗装	アクリル焼付塗装	アクリル焼付塗装	アクリル焼付塗装	アクリル焼付塗装	アクリル焼付塗装	アクリル焼付塗装
	フィルター	○	○	○	○	○	○	○	○
	結線ボックス	アルミダイカスト（外面塗装）	アルミダイカスト（外面塗装）	アルミダイカスト（外面塗装）	アルミダイカスト（外面塗装）	アルミダイカスト（外面塗装）	アルミダイカスト（外面塗装）	アルミダイカスト（外面塗装）	アルミダイカスト（外面塗装）
	運搬・角度調整ハンドル	○	○	○	○	○	○	○	○

照明器具の耐塩害について

株式会社　アイゼット

屋外照明器具の耐塩害性能

屋外用の照明器具は、通常の使用に耐えうる耐食性を有していますが、特殊な環境で使用した場合は、短期間での発錆など不具合の可能性が高くなります。
屋外用の器具では一部の機種において「耐塩形」、「重耐塩形」を設けておりますので、以下に示す環境下ではこれらの機種をご使用ください。施設用器具で特に記載のない商品は下記環境下では使用になれませんので、別途ご相談ください。
重塩害地域：「重耐塩形」をご使用ください。
■海岸に面した地域（以下目安）
港湾部：波打ち際より約100m以内
海岸都：波打ち際より約200m以内
（諸島部、北陸地方より北の日本海側は約500m以内）
その他：波打ち際より約２km以内のビル屋上、山稜部等の高所で海岸が広く望める場所、重工業地域
塩害地域：「耐塩形」をご使用ください。
上記「重塩害」に対応する地域を除く、次の地域（以下目安）
■海岸に面した地域
港湾部：波打ち際より約500m以内
海岸部：波打ち際より約1000m以内
（諸島部、北陸地方より北の日本海側は約２km以内）
その他：波打ち際より約10km以内の山稜部等の高所で海岸が広く望める場所

◆注意事項

●上記に記載の波打ち際からの距離は目安となっています。次例のような地域特有の条件により、「重塩害地域」「塩害地域」に該当する地域が拡大する場合もあります。
従って、上記は、これら地域内での耐食性能を保証するものではありません。
気象条件：海岸からの強い季節風、南西諸島などの高温高湿環境など。
地　　形：高波が立ちやすい海岸形状、沿岸部に風をさえぎる林など遮へい物がないなど。
これらに該当する場合は、使用する地域に既設の建築施設等の腐食程度、補修頻度などを参考にして、使用器具の耐食性をご検討ください。

●特殊な腐食環境（プール、温泉浴室など）では、「重耐塩形」「耐塩形」でも腐食が進む場合がありますのでご注意ください。

●船上、海上の特殊な施設（採油サイトなど）では「重耐塩形」でも腐食が急激に進みます。

●塩害地域内でも、建物の軒下など、海塩の影響を受けながらも雨水を受けない部分では、付着した塩分が流れ落ちないため、腐食が促進されます。「重耐塩形」をご使用ください。

●海水の塩分による直接的な影響の他、塗装など表面処理の耐久性に影響を与えるような条件下では、構造材の腐食に影響を与える場合があります。例を次に示します。
例）強い日射による塗装膜の劣化、海岸に近い地域での砂塵による表面の細かい傷等

●上記塩害地を含め、腐食環境での使用に当っては、定期的な点検と、適正な修理、交換を推奨します。

照明器具及び照明用ポールの耐塩害に関するガイド〈（社）日本照明器具工業会ガイド117：1998抜粋〉

■目的
近年・港湾施設の整備や海浜公園の拡大などに伴い、塩害が予想される海岸付近に設置される照明施設が増大しています。これら塩害が予想される地域に設置される照明器具、照明用ポールについて一般的な防食対策以上の表面処理、材料指定などが必要となってきています。

■適用範囲
照明器具、照明用ポールの防食に対しては塩害だけでなく、重工業地帯での腐食性ガス、冬季に使用される融雪剤、及び凍結防止剤などについても十分な検討が必要ですが、海岸地域での塩害に限定しました。また、海水中に没して使用するもの、常時海水がかかる場所に設置するものなどは対象外としています。

■耐塩害レベル
耐塩害レベルは次の２段階とします。
a）重耐塩：常時、飛来塩分が高濃度の地域に求められるレベル
b）耐　塩：常時、飛来塩分があり、気象条件により高濃度になることのある地域に求められるレベル
それぞれのレベルを適用する地域は、海岸からの距離などでは線引きできません。飛来塩分は海岸線の状況（外海、内海、港湾、砂浜など）や、海抜高さなどにより複雑に影響を受けるため、地域特性によりレベルを判断せざるを得ません。既存の周辺諸設備の発錆状況などを考慮して、協議、決定することを推奨します。

■使用材料と表面処理
●使用する照明器具、照明用ポールの材料に対する表面処理は〈表1〉に示す塗料の特性を考慮して適当なものを選定します。
●塩害を受けると予想される地域に使用する照明器具、照明用ポールの材料およびその表面処理は設置される地域の塩害レベルにより〈表２〉及び〈表３〉より選定します。
●〈表2〉及び〈表3〉に示す上塗り塗料は、密閉タイプの照明器具については外郭、照明用ポールについては外面とします。
●上塗り塗料の特性を生かすには下地処理の影響が大きく〈表２〉、〈表３〉に示す塗料には、必ずその塗料に適した下地処理を施すことを条件とします。
●〈表１〉に示された塗料については、膜厚と塗り回数により耐塩レベルに大きく影響する場合があります。したがって塩害レベルに合わせて決定することが望ましい。

◆表１　耐塩塗料特性表

塗料記号	塗料名	塗装方法	対象 器具	対象 ポール	耐塩性	白亜化	光沢保持性	塗膜硬度
A	アクリル樹脂系塗料	焼付	●		◎	◎	○	◎
B	ポリウレタン樹脂系塗料	焼付	●	●	◎	◎	○	◎
		常乾		●	◎	◎	○	○
C	ポリエステル樹脂系塗料	焼付	●		◎	◎	△	◎
D	エポキシ変成メラミン樹脂系塗料	焼付	●		○	◎	△	◎
E	フッ素樹脂系塗料	焼付		●	ⓐ	◎	◎	◎
		常乾		●	◎	◎	◎	○
F	アクリルシリコン樹脂系塗料	焼付		●	ⓐ	◎	◎	◎
		常乾		●	◎	◎	◎	○
G	フタル酸樹脂系塗料	常乾		●	△	△	△	△

（ⓐ特優、◎優、○良、△可）

注）
a）光沢保持性、白亜化については防錆に加えて、見映えを重視する公園等に設置する場合に特に配慮します。
b）塗膜硬度は海からの風で絶えず砂などが吹き付けられる場所に設置する場合に考慮します。

◆表２　照明器具の材料と表面処理

塩害レベル	照明器具材料		表面処理（塗料記号）	備考
重耐塩	SUS304		A・B・C・D	
	アルミ合金	ADC・AC	A・B・C	
		板・型材など	A・B・C・D	
	鋼材		溶融亜鉛メッキ後 A・B・C・D	より防錆を要求される所には溶融亜鉛メッキ後、塗装を推奨する。
耐　塩	SUS304又はSUS430		A・B・C・D	
	アルミ合金	ADC・AC	A・B・C	
		板・型材など	A・B・C・D	
		被膜処理材	無塗装	アルマイト処理又は同等以上のコーティング
	鋼材	処理鋼材	A・B・C・D	亜鉛メッキ鋼板又は同等以上の処理鋼板
		鋼材	溶融亜鉛メッキ後 A・B・C・D	より防錆を要求される所には溶融亜鉛メッキ後、塗装を推奨する。
			溶融亜鉛メッキ	

◆表３　照明ポールの材料と表面処理

塩害レベル	ポール材料	表面処理（塗料記号）	備考
重耐塩	SUS316又はSUS304	B・E・F	より防錆を要求される所にはSUS316を推奨する。
	アルミ合金	B・E・F	
	鋼材	溶融亜鉛メッキ後 B・E・F	より防錆を要求される所には溶融亜鉛メッキ後、塗装を推奨する。
		溶融亜鉛メッキ	
耐　塩	SUS304	B・F	
	アルミ合金	B・F	
	鋼材	溶融亜鉛メッキ後 B・F・G	より防錆を要求される所には溶融亜鉛メッキ後、塗装を推奨する。
		溶融亜鉛メッキ	

■施工及び維持管理方法について
a）海に隣接した地域で．高架下などの雨水のかからない場所に設置される場合は付着した塩水飛沫が雨水により洗い流されないため、腐食が促進されることがあります。定期的な清掃により塩分の洗い流し作業が必要です。
b）照明用ポールの地際部は腐食しやすいため、基礎を地表に必ず出し、傾斜をつけるなど水切り対策を施します。
c）輸送、施工、使用中についたキズは速やかに補修塗装を実施します。
d）照明用ポール基礎のコンクリート骨材中に塩分が含まれていないよう配慮が必要です。

■その他塩害に対する留意点
a）開放タイプの照明器具は塩分の付着によるソケット部などの絶縁低下に対する処置を考慮します。
b）密閉タイプの照明器具は、ランプ交換、清掃などメンテナンスの際に開閉する部分のパッキンの材質は耐候性を考慮したものを選定します。
c）塩害地域で且つ重工業地帯と重なる場合は、耐薬品性なども考慮します。
d）接合部に使用するボルト類は溶融亜鉛メッキボルト、またはSUS　304以上のものを使用します。

屋外用照明器具は、チェックシートにより定期的に点検、補修を行って下さい。